

イギリスでEVタクシー専門工場稼働

2018年1月から登録される新車のタクシーは低炭素仕様が義務付けられるため、電気タクシー（以下、EVタクシー）の需要が見込まれています。このためイギリスのタクシー車両専門メーカーのロンドン・タクシー・会社（London Taxi Company-以下LTC）は、イギリス中部の産業都市コベントリに新たに3億2,500万ポンド（455億円）を投資した工場を3月から生産準備をスタートさせ、7月からの生産開始を目指しており、1,000人の雇用創出が期待されています。

3月22日の開所式に出席した、クラーク商務長官は「中部地方で1,000人の雇用を創出する新しいEVタクシー専門工場は年間20,000台の生産の能力を有しており、世界的に有名なロンドンの象徴的な黒いタクシーは、LTCの新しい工場で生産されます。LTCの研究開発施設での、新しい自動車技術の開発はイギリス経済の発展に貢献していくことでしょう。そしてロンドンだけでなく、徐々にイギリス全土のEVタクシー化は、低炭素化社会創出に貢献することを期待して。」と述べられました。

また、ヘイズ運輸大臣は「コベントリの新工場には最新のEVタクシーモデル「TX5」を開発するため、国の地域成長基金を通じて1610万ポンド（23億円）の補助金が供出されています。低炭素社会の創出することをコミットしている政府は、低炭素経済がもたらす機会を活用することに全力を尽くして行くつもりで、人々の健康と環境にとって不可欠な都市の汚染を減らし、空気の質を改善することを期待しています。これは多くの高度な技術力を持つ新しい技能者の雇用を創出し、最先端の技術と次世代の輸送及び製造業に投資するファンドも現れ、イギリス経済にとっても素晴らしいニュースであります。」と述べられました。



4月、あいにくの雨の中、ロンドンで行われたEVタクシーTX5の発表会



充電中の EV タクシー TX5



従来の車いす乗降機能を踏襲した TX5

運輸省は、EV タクシーの運用を促進するために、第一ステージで、6400 万ポンド（約 90 億円）の補助金を発表しています。この補助金は 2 つのスキームをサポートします。

- ① EV タクシー購入補助金プログラムに 5000 万ポンド（約 70 億円）を振り当てており、これは現行のディーゼルタクシーから EV タクシーに買い替える場合にタクシー運転手に最大 7,500 ポンド（約 100 万円）の補助金を出すと言う制度です。EV タクシーに切り替えると年間約 2,800 ポンド（約 40 万円）の燃料費の節約が可能となります。
- ② 1400 万ポンド（約 20 億円）の投資は、ロンドン市内の 10 の区で、EV タクシーの為の新たな専用充電スタンドの設置にも使われます。

5000 万ポンド（約 70 億円）の EV タクシー購入補助金制度（Plug in Taxi Grant-PITG）の資金は EV 車、低排気ガスのバスとタクシー等を支援する為に、昨年秋に発表された低炭素化交通システム構築予算の一部です。EV タクシーの導入は、特にロンドンに約 23,000 台のディーゼル仕様の黒塗りタクシーがあり、ロンドン以外の都市でさらに 15,000 台が稼働中で、都市での大気汚染改善の効果が期待されています。

EV タクシーのための充電スタンドに資金を提供するために運輸省から拠出提された 1400 万ポンド（約 20 億円）は、タクシーインフラストラクチャ協議会を通じてロンドン以外の 10 の主要都市にも割り当てられます。

これらのプロジェクトは、約 400 箇所の超急速充電スタンド(充電時間 30 分)と 150 箇所の急速充電スタンド(充電時間 3~4 時間)の設置資金として使われ、イニシャルステージで全国で見込まれる約 23,000 台の EV タクシーの運用立ち上げをサポートします。もちろんこれらの充電スタンド設備は、一般やレンタル EV 車の利用も見込まれ、EV 車普及に貢献すると思われます。

東京五輪・パラリンピックを目指したタクシーは TX5 の様な車いす乗降機能を標準仕様にした、EV 又は FC（燃料電池）タクシーになるのでしょうか。（了）